『イス取りゲーム』（7月14日配信）

こんにちは、戸田です。よろしくお願いします。

今日は、イス取りゲームについてお話しします。

私はろう学校の幼稚部に勤務しています。幼稚部の子どもたちは、イス取りゲームが大好きです。友達と勝ち負けで一喜一憂しています。本当に大好きです。みなさんも小さい時にイス取りゲームの経験があるのでご存じですよ。やり方は、イスを並べて先生などがピアノなどで音楽を流します。音楽が流れている間は、イスの周りを歩いて回ります。音楽が止まった瞬間にイスに座ります。イスの数を参加人数に対してだんだん減らしていき、座れなかった子供は抜けていきます。最後の一脚に座れた人が優勝です。みなさんご存じですよ。

幼稚部の子どももイス取りゲームが好きですが、音楽を聞く方法は合いません。ほかのろう学校の幼稚部では、みなさんと同様の方法で先生がピアノを弾き、子どもたちは補聴器や人工内耳を頼りに行う学校もあります。

では、私が勤務するろう学校の幼稚部の方法は違います。聴こえの程度は子どもによって違います。平等では無くなってしまいます。そのため、見てわかる方法でイス取りゲームを行います。それは、部屋の電気を使った方法です。部屋の電気が付いているときはイスの周りを歩きます。電気が消えたと同時にイスに座ります。これが私の勤務する幼稚部の方法です。音に頼らず目で見てわかる方法で戦います。メリットとして、ピアノなどは先生が担当しなければなりません。電気のスイッチは子どもでも消したり点けたりできます。電気の担当は子どもたちで順番に行うことで、イス取りゲームが子どもたちだけで成立し楽しむことができます。この方法が、全国のろう学校にも広まっていったら良いなと思います。